

もう動かすな原発

県民署名広がる

福井

原発15基が集中立地する福井県内で、「もう動かすな原発！福井県民署名」が広がっています。「福島のような事故が福井でも起きたら大変だ」と協力する住民が多く、取り組んでいる人たちも手応えを感じています。年内を期限に集中して集め、年明けに西川一誠知事に突きつけます。（福井県・山内巧）



県内各地で取り組まれている県民署名。10月25日、福井市

"子らの健康、安心守れ" "仕事と雇用を増やして"

判決尊重して

県民署名は、稼働原発ゼロの中、今年3月に開かれた「さよなら原発福井県集会所」で呼びかけられた。中尾哲演・明通寺住職、山本富士夫・福井大学名誉教授らが呼びかけ人となって7月、「再稼働反対」の一点で実行委員会を立ち上げてスタート。全17市町で実行委をつくる方針で推進しており、山本氏は「徹底的な草の根運動をやる」と力を込めます。

署名で強調しているのは、関西電力大飯原発3、4号機（おおい町）の再稼働差し止めを命じた福井地裁判決（5月21日）です。人の命を基礎とする人格権を最も重視し、「これを超える価値を見いだすことはできない」としました。福井県も尊重してほしいと求めています。実効性のない避難計画や危険な

「核のゴミ」も指摘し、「未来の子どもたちが健康で安心して暮らせるように、原発の再稼働を認めないでください」「原発をなくして、新しい仕事と雇用を増やす福井県にしてください」と要請しています。

200人が名連ね

越前市では約200人が呼びかけ人に名を連ね、福井地裁判決や避難計画の学協会に取り組みながら進めています。街頭宣伝には、保守系市議も加わりました。

坂井市では、独自に仕立てた宣伝カーを回し、大型店前では「俺もするぞ」と駆け寄ってくる男性や、「僕らもいいですか」という高校生などがいました。署名用紙を郵送している女性は、知人が80人分の署名を返してくるなど、すでに800人分近くを集め、さらに「2000人をめ

ざして頑張る」と話しています。福井市の宣伝でも、「福島であれだけの事故を起こしたのに、まだ動かそうとしている」と憤る人や、「再稼働は」当然反対。地球のため、人類のため」という人もいます。

1軒1軒回り

福島原発事故を機に小学1年生の息子と東京から避難してきた女性（44）は「再稼働なんてありえない。つながりを広げて反対の行動を展開したい」と、親子で1軒1軒回っています。原発が集中立地する

嶺南地域でも、おおい町と高浜町で署名用紙の全戸配布が計画されています。美浜町や若狭町では全戸配布を終えました。4基の原発が立地する敦賀市では、署名収集の担い手を増やしなから推進しています。地域訪問の統一行動を重ね、訪問先では「反対やけど、身内が原発関連で働いているから署名はできない」など、ネット署名も行われ、県内外から署名が寄せられています。

集の担い手を増やしなから推進しています。地域訪問の統一行動を重ね、訪問先では「反対やけど、身内が原発関連で働いているから署名はできない」など、ネット署名も行われ、県内外から署名が寄せられています。